

命を守るために！

日頃できることから「災害」と向き合う。

2019. 5. 27 (月)

13:30~16:20

定員
100名

災害を「自分事」として考える習慣と危機感を持つことができるプログラム

基調講演は、内閣府の「平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ」の委員も務められ、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方などを専門に研究されている、片田敏孝氏を講師に迎え、7月豪雨災害を踏まえ、ワーキンググループの報告にもある、これからの災害に対する住民の「自助・共助」のあり方、それを支援する行政の役割についてご講演いただきます。

第2部では、岡山理科大学の佐藤文晴氏が、過去の土砂災害の事例をもとに、「自分の命は自分で守る」意識の高揚につながる内容の講演をいただきます。

第1部 13:30~

《演題》

荒ぶる自然災害に向かい合う犠牲者ゼロの地域づくり



片田 敏孝氏 (かただ としたか)

東京大学大学院情報学環特任教授
群馬大学名誉教授

専門は災害社会学。
災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。特に、釜石市においては、平成16年から児童・生徒を中心とした津波防災教育に取り組んでおり、地域の災害文化としての災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の定着を図ってきた。平成24年には防災の功労者として2つの内閣総理大臣表彰を受賞、また平成26年には皇居に招かれ天皇皇后両陛下にご進講もしている。

第2部 15:20~

《演題》

過去の土砂災害事例から学ぶこと

~大切な命を守るために~



佐藤 文晴氏 (さとう たけはる)

岡山理科大学生物地球学部生物地球学科准教授

岡山県玉野市生まれ。
岡山大学大学院自然科学研究科修了。技術士（建設）、博士（工学）
株式会社エイト日本技術開発入社し、土砂災害の警戒避難基準の設定手法などを開発、土砂災害警戒情報の基準設定など、土砂災害関連のソフト対策に従事。平成25年4月に現職。土砂災害ソフト対策の推進、自助・共助を目的とした情報提供システムの開発や防災教育の推進に関する研究開発を進めている。

会場

岡山県市町村振興センター5階 れじょんホール (岡山市北区今2-2-1)

対象

岡山県内市町村職員 (危機管理・地域福祉・地域自治組織・教育担当部門などの職員)

申し込み

申込み締切日 2019. 5. 20 (月)

市町村の研修担当者経由でお申し込みください。



お問い合わせ

公益財団法人岡山県市町村振興協会

TEL 086-245-4882 Fax 086-245-4421